

第3章 まちづくりの課題

3-1 時代の潮流（社会の経済・環境情勢）

「時代の潮流（社会の経済・環境情勢）」と、「まちづくり計画の課題（総合的課題、分野別課題）」のうち、時代の潮流を、次のように整理します。

（1）少子高齢化社会・人口減少社会の到来

我が国においては、少子高齢化社会が急激に進行し、人口減少社会が到来していることから、安心して結婚し、子どもを生み育てられ、高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりを実現していく必要があります。

（2）安全・安心への意識の高まり・質の高い生活基盤の形成

東日本大震災や関東・東北豪雨など、大規模な災害の影響により、町民の安全・安心への意識が高まっていることから、安全で安心して暮らせる質の高い生活基盤とともに、拠点集約・ネットワーク型まちづくりを実現していく必要があります。

（3）産業構造の変化・グローバル化の進展

少子高齢化や、世界の金融・経済動向の変化などにより、産業構造が変化するとともに、交通・物流システムの高度化や情報通信技術の発達などにより、経済活動のグローバル化が進展していることから、新たな産業の創出と地方創生、ワーク・ライフ・バランスの推進などにより、活力ある社会を形成していく必要があります。

（4）地方分権型社会・安定自立性の高い行政運営の進展

国、県及び町の役割分担を明確にし、連携しながら、自立性と主体性のある行政運営への転換とともに、地域の個性を活かしながら、他自治体との差別化を図るため、行財政改革の推進や、安定自立性の高い都市経営の実現とともに、広域的な連携・交流都市を構築する必要があります。

(5) 環境問題への対応と持続可能な社会の構築

河川や山林等の身近な自然環境の保全や、地球温暖化等の地球規模での環境問題への対策など、様々な環境問題を解決するため、環境と共生した循環型社会の形成とともに、環境負荷の少ない低炭素社会に転換していく必要があります。

(6) 町民参加・協働のまちづくりの進展

近年、町民参加・協働によるまちづくりへの必要性や関心が高まっていることから、町民が主体となった活動や、NPO・ボランティア活動など、多様な町民ニーズに応じたまちづくりを推進していく必要があります。

(7) 価値観やライフスタイルの多様化・個性尊重

社会経済状況の変化に伴い、個性を尊重する社会が求められていることから、多様な価値観・ライフスタイルを選択できる、真の豊かさや幸せを実感できる社会を実現する必要があります。

(8) 高度情報ネットワーク社会の進展

情報通信技術の急速な発達により、スマートフォン、タブレット等の情報端末を活用した高度情報ネットワークが進展する一方で、情報端末を利用できない町民も存在することから、ICTの高度化に対応しつつ、誰もが必要な情報を活用できるユビキタスネットワーク*社会を実現する必要があります。

*ユビキタスネットワーク：あらゆるモノにコンピュータやICチップなどが埋め込まれ、有線・無線通信により、常に相互に接続されて、誰でもいつでもどこからでも、様々な情報やサービスを利用できる情報ネットワーク環境のこと。

3-2 まちづくり計画の課題

まちづくり計画の課題は、総合的課題と分野別課題の視点から、次のように整理されます。

(1) 総合的課題

1 定住・移住の促進

少子高齢化を見据えながら、人口減少対策や若者の居住促進、空き家対策に取り組み、市街地の活性化を図る必要があります。

また、野木駅を中心に形成された市街地の集約化などにより、コンパクトなまちづくりを進めるとともに、隣接市町と連携しながら、広域連携・交通ネットワークを構築する必要があります。

2 産業・観光振興

産業振興と活性化を図り、若者を中心とした雇用を創出するため、新たな産業拠点の整備などを推進する必要があります。

また、渡良瀬遊水地や野木町煉瓦窯（国指定重要文化財）等の特色ある地域資源を保全・活用した、「水と緑と歴史のふるさとプラン」の推進に向けた回遊ネットワークの形成に取り組む必要があります。

3 防災対策・環境共生

大規模な震災や風水害に対応するため、安全な生活基盤の整備や防災体制の強化等により、災害に強いまちづくりを推進していく必要があります。

また、低炭素社会の実現や新エネルギーの確保などにより、地球環境にやさしいまちづくりを推進していく必要があります。

4 町民参加・参画

町民参加・参画によるまちづくりを実現するため、町民参加の機会創出や、担い手の育成、地域特性に応じた活動の促進などにより、町民協働のまちづくりを推進する必要があります。

(2) 分野別課題

1 土地利用

● 適正かつ計画的な土地利用

市街化区域における土地の有効活用や新たな市街地の整備とともに、市街化調整区域における集落環境の形成や農地・平地林等の自然環境の保全、市街地周辺の土地の有効活用など、適正かつ計画的な土地利用を形成する必要があります。

● 商業地の活性化

駅周辺等の商業地における商業の空洞化対策及び活性化や、幹線道路沿道における生活サービス機能の適正な配置誘導を図る必要があります。

● 工業地の充実

新たな工業用地の確保、広域交通ネットワークを活かした新たな産業拠点の形成等により、工業の振興と雇用の拡大や、地域の活力創出を図る必要があります。

● 安全で快適な居住環境の創出

地域の特性を活かしながら、道路・公園等の整備や、周辺的环境と調和したゆとりある街並みの形成などにより、良好な居住環境を維持・創出する必要があります。

また、空き家や空き地等が増加していることから、若者・子育て世代や高齢者など、生涯にわたって暮らせる魅力的な居住環境を創出し、定住を促進する必要があります。

● 魅力的な集落環境の形成

河川、平地林、農地等の自然資源や、神社仏閣等の歴史的資源の保全・活用とともに、集落における生活道路等の改善等により、魅力的な集落環境を形成し、集落地域の活力を維持していく必要があります。

2 交通体系

● 道路・交通ネットワークの形成

幹線道路の整備等による骨格となる交通軸の形成や、交通基盤の拡充等により、総合的かつ効率的な道路・交通ネットワークを形成する必要があります。

また、隣接市町と連携を図りながら、広域的なネットワークを強化する必要があります。

● 生活道路の整備

日常生活の利便性や、災害時の安全性を確保するため、狭あい道路や行き止まり道路の解消など、生活道路の改善が必要となります。

● 歩行者や自転車等の利用環境の向上

歩行者や自転車等に配慮した道路空間の整備や、歩行者・自転車ネットワークの形成により、歩行者や自転車等が安全・安心して移動できる環境を整備する必要があります。

また、高齢者や障がい者等が快適に移動できるようにするため、バリアフリー環境を充実していく必要があります。

● 公共交通の利便性向上

既存の公共交通の拡充や、主要施設へのアクセス性の向上、新たな移動手段の確保など、利用者のニーズに応じながら、公共交通の利便性をさらに高めていく必要があります。

3 公園・緑地

● 計画的な公園の整備

スポーツ・レクリエーション活動や災害時の拠点となる大規模な公園・緑地の整備とともに、身近な憩いの場や交流の場となる街区公園や、小公園（ポケットパーク）、広場（オープンスペース）等の整備を検討する必要があります。

● 既存の公園・緑地の充実

子どもから高齢者まで、誰もが気軽に利用できる環境を確保するため、既存の公園・緑地における機能の充実や適正な維持管理をしていく必要があります。

● 豊かな自然環境の保全と活用

本町の特性である平地林が減少傾向にあることから、民有地及び歴史的施設内の緑地などを含め、広域的な視点による緑地の役割分担を確立しながら、現存する緑地環境の保全策を検討する必要があります。

4 河川・下水道・その他の都市施設

● 河川・水路の整備

近年の集中豪雨等による被害を軽減するため、浸水対策や河川の防災機能の強化とともに、適正な維持管理に努める必要があります。

また、町民のレクリエーション拠点として、自然環境を保全しつつ、水辺を活かした親水空間の整備やネットワーク形成を図る必要があります。

● 下水道施設の整備

公共下水道や集落排水等による適正な汚水処理の推進とともに、逆川排水機場の機能強化と適正な維持管理に努める必要があります。

● ごみ処理場等の整備

ごみの減量化や、リサイクル・再資源化を推進するとともに、不法投棄の防止等により、環境の保全を図る必要があります。

また、小山広域保健衛生組合と連携しながら、ごみ処理場の適正な維持管理に努める必要があります。

5 景観形成

● 景観・風景の保全・活用

豊かな自然環境を有する渡良瀬遊水地や思川など、町民が誇れる景観・風景を保全・活用していく必要があります。

● 自然景観・田園風景の保全・活用

平地林や農地を活かした、緑豊かな自然景観や美しい田園景観を保全・活用していく必要があります。

● 魅力的な街並みの形成

良好な住環境を創出するため、地区計画制度の活用など、一定のルールに基づきながら、魅力的な街並みを形成していく必要があります。

6 防災等

● 防災機能・体制の充実

町民、企業、行政等が連携しながら、防災対策の推進や、減災のまちづくりの推進、消防体制の充実などにより、防災機能・体制を充実する必要があります。

● 防犯設備・体制の強化

犯罪のないまちづくりを実現するため、地域コミュニティを活用しながら、防犯体制を強化するとともに、町民の安全を確保するため、防犯設備等を充実していく必要があります。